

## 《スローガン》 親子で読書 深める絆 ～本を読む子は かならず伸びる～

- ▶ 山形県PTA連合会では、親も子どもと一緒に読書に親しみ、家庭に読書文化の礎を築くために親子読書を推進しています。
- ▶ 親も子ども共に読書に親しむことで、親子のコミュニケーションを活発にし、子どもも親も心が豊かになり、絆が深まることと思います。
- ▶ 読書習慣が子どもの学力をアップします。読書習慣は文章を読み解く力と密接に関係しているのです。



子どもが育つ時間はあっという間。けんかをしたり、叱られたり、いろいろあっても、親子で絵本に浸る時間は優しく気持ちを解きほぐしてくれます。…  
読み聞かせは「愛の時間」なのです。 (学校図書館アドバイザー：五十嵐絹子)

## 応募ありがとうございました！

### 平成29年度 「あなたが選ぶ一冊」の紹介

《児童・生徒の応募》の中から・・・

#### 【にんたま、又エと大たいけつ！】

にんたまのおはなしがすきだったから。このおはなしも、おもしろかったけど、だんだんこわくなってきて、パパとママによんでもらおうとおもいました。(小1)

#### 【四年変組】

「自分に、だれかと違う部分があったとしても、ちっともかまわない。変＝個性なのよ」という、れい子先生の言葉が心にのこったからです。いろいろな個性のある人たちだからいっしょになって喜んだり悲しんだりすることができるんだなと思いました。(小5)

#### 【銀河鉄道の夜】

このお話は、6才のころから読んでいました。たくさんのお話を知ることができて、読むたびに友情の力に心を打たれます。夢の中の話だったとしても、心がつながったように感じて勇気ができます。この本を読んで勇気をもらいたいです。(小6)

#### 【4TEEN】

ナオト、ジュン、ダイ、テツローの中学2年生の4人組が仲を深めて成長していく物語。読むと今の自分に当てはまることもあった。今の自分に足りないことや、活かせることがたくさんあると思うので、活かせることは活かすようにしていきたいと思う。(中3)

《親・教師の応募》の中から・・・

#### 【12の贈り物】

この本は、小学校で6年間読み聞かせを行ってきたお母さんたちと一緒に、卒業間近な子どもたちに向けて読んだ。この世に誕生した時からずっと、どれほどの愛を与えられて、そして与えてきたか。生きていることを肯定してくれる素晴らしい本だ。私自身も「親はこんな風に思って私を育ててくれたんだ」と気づかされ、親の深い愛を知るきっかけにもなった。旅立ちの時、辛いとき、自分を信じて支えてくれる存在は何物にも代えがたい幸せであると感じ涙する本だ。(中1の母)

#### 【いのちをいただく】

息子に普段は読まない本を考え選びました。今年の夏は一緒に釣りに行きました。そして、釣った魚と一緒に食べました。それまで生きていたものを食べるという体験はしましたが、日頃食べているものも、生きていたのだということ、読書という追体験を通して考えることができました。(小2の父)

#### 【ふたりは屋根裏部屋】

私が小学生の時、図書室でこの本と出会いました。何度も借りて読み、返却するのがおもしろいほど好きな本でした。30数年過ぎた今でも忘れられない一冊で、調べて購入し読むことができました。過去と現在のタイムスリップはとてもワクワクして、当時初めて感じた感覚でした。子どもにも想像する楽しさを、読書を通して伝えたいと思う一冊です。(小1の母)

## 【お知らせ】

応募いただいた「書籍・推薦文(推薦の理由)」を山形県PTA連合会のホームページにアップいたします。是非ご覧下さい！

ホームページ <http://www.ymgt-pta.jp>







過去5年間にわたる応募の中から、親・教師・子どもが推薦してくださった書籍“ベスト5”を紹介します。家族で一緒に読み合っはいかげしょう。

# 「あなたが選ぶ一冊」ベスト5

他にも人気の高い書籍（6位～10位）は  
 6位「おしりたんてい」  
 7位「永遠の0(ゼロ)」  
 「ぐりとぐら」  
 「西の魔女が死んだ」  
 10位「おし入れのぼうけん」 でした。

☆過去5年間の応募総数：5,034件



1位



「泣いた赤おに」  
 著者：浜田広介

2位



「赤毛のアン」  
 著者：モンゴメリ

3位



「100万回生きたネコ」  
 著者：佐野洋子

4位



「かあちゃん取扱説明書」  
 著者：いとうみく  
 さとうまさこ

5位



「世界で一番貧しい  
 大統領のスピーチ」  
 著者：くさばよしみ

## “選んだ理由”を紹介するよ！

### 【かあちゃん取扱説明書】

ぼくのおすすめの本です。なぜか  
 というと、ぼくのお母さんもちよっ  
 とこわいので、おこったときつかえ  
 そうなのがたくさんありました。本  
 の男の子と僕の気持ちは同じだった  
 ので、お母さんにも読んでもらい二  
 人でたくさんわらえた楽しい本でし  
 ました。(H27年度 小3)

### 【世界で一番貧しい大統領のスピーチ】

僕がこの本を読んで心に残ったところは、  
 ムヒカ統領が「幸せこそが大切な宝物」「人  
 類が幸福であってこそよりよい生活がでる」  
 と言ったところす。ぼくはこの本から、幸せ  
 とはかぎりなく多くを必要とせず、もっとも  
 っととほしがらずに満足して生活することだ  
 ということを学びました。(H28年度 小6)

### 【おし入れのぼうけん】

わたしは何回も読んでいますが、とってもおもしろく、押し入れの中で「ねずみばあさん」につかまります。ねずみばあさんやねずみと二人はたたかい押し入れからでることが出来ます。おこられて押し入れに入れられた二人は、先生からもゆるしてもらいます。すごく物語の中に引き込まれていくような心に残るお話です。

(H25年度 小5)

### 【100万回生きたネコ】

100万回生きたねこは、本当に大切な白ネコと出会い守るべき家族ができた時、生きる事の幸せ、死ぬ事の悲しみを知ったのではないかと思う。この本は「愛する」という思いやりの大切さを教えてくれる本だと思いました。

(H25年度 母親)

### 【泣いた赤おに】

さみしいきもちになりました。青おには、赤おにのために、わるいことをしたので、すごいと思いました。心のやさしい青おにみたいに、じぶんもやさしい心をもちたいです。

(H26年度 小1)

### 【赤毛のアン】

女の子だったら誰でも美しくなりたいと思っているものです。主人公のアンは自分の赤毛が大嫌いでした。気にしていることを言われて傷つくアンは、得意の想像力を使ってもこの髪の毛の色だけは忘れることができません。アンは、たくさん失敗もしますが、とても素直で頑張り屋でもあったので、勉強にも励み、優秀でみんなに愛される優しい少女になりました。赤毛も気にならなくなり、むしろ、それはアンの魅力になっていくのです。「欠点はチャームポイントになる！」その事を赤毛のアンは教えてくれています。

(H26年度 母親)

### 【ぐりとぐら】

大きなたまごのからを、車にするのは頭がいいな。ぐりとぐらはどうぶつたちにかすてらをわけるのは思いやりがあると思いました。2年生は思いやりが少ないから思いやりをふやすためにがんばると思いました。

(H28年度 小2)

